

1月25日(土)に開催された「給食 de SDGsフェスタ」のイベント会場で、SDGsフォトコンテストの授賞式が行われました。このコンテストは、身近なものからSDGsの17のゴールについて考えるきっかけとなるよう令和4(2022)年から始まり、本年度で3回目の開催となります。今回は、たくさんの応募作品の中から見事受賞した13作品を紹介します。



ホームページ

※作品の題名とメッセージは、原文通り掲載しています。

👑 みよし市長賞 👑



「とぎ汁で植物元気、海元気」

やすもと
安本 ひかるさん

【メッセージ】

米のとぎ汁を海にすてると海がよごれてしまうけど、植木にあげるとお米の栄養で元気になるし、新しい水を出さなくてすむのでいいことがいっぱいです！



「車いすでともに」

三吉小学校 6年1組

【メッセージ】

パラスポーツ選手の方を招いて福祉実践教室をしました。競技用車いすに乗り、みんなと一緒にパラアスリートになった気分を味わうことができました。私たちは、「ともに歩く」を合言葉に色々な人と歩んでいきます。



👑 東海学園大学学長賞 👑



「あさりの肥料」

すずき えま
鈴木 瑛真さん

【メッセージ】

家族でしおひがりに行って、あさりをたくさん取りました。食べ終わった貝がらで何かできないか調べたら、肥料が作れることが分かりました。捨てるただのゴミになってしまうものが肥料になってうれしかったです。



「ありのままにのびる未来を。」

やまだ けんた
山田 堅斗さん

【メッセージ】

春の色鮮やかな自然の中、小さな体でも「不安なんて無い」って顔で遊んでいる娘。ありのままの君たちでいられるように、くだらないことで顔を曇らすことがないように、今は僕らが頑張るよ。未来に安心を届けよう。



👑 みよし市教育委員会賞 👑



「ゴミを出さないおりたたみはし」

ほそかわ あす
細川 亜栖さん

【メッセージ】

このおりたたみはしは、プラスチックを出さないため、さいがい的时候、おりたためるのもちはこびにべんりです。



「点字を打ってみたよ！」

三吉小学校 6年2組 2班

【メッセージ】

みんなで点字体験をしました。一つの道具でいろいろな人を支えているのがすごいと思いました。これからは困っている人がいたら、積極的に声をかけていきたいです。みんなが笑顔で過ごしていけるように助け合おう！



👑 協賛パートナー賞 👑



●カネヨシ賞 

「しょうがいがある人でも安全に」

つばい ゆうり
壺井 優凜さん

【メッセージ】

目が見えない人は道路や横だん歩道をわたる時、すごく不安だと思います。そこで場所によっては信号機が青の時、耳で教えてくれる横だん歩道があることを伝えたいです。



●ハチドリチャレンジ賞 

「近未来への第一歩 私たちの車いす体験」

三吉小学校 6年1組 2班

【メッセージ】

わたしたちは、足を自由に動かせます。歩けることは当たり前ではない。わたしたちの当たり前は、当たり前ではない。わたしたちみんなが、もっと知ることによって、みんなが住みやすい街になるのでしょうか。



●豊田信用金庫賞 

「楽しく学べる SDGs かるた」

三吉小学校 6年2組 3班

【メッセージ】

かるたを使ってSDGsを学びました。遊びながら学べるからみんなで楽しくSDGsについて考えることができました。世界中のためにSDGsを意識して持続可能な社会をつくっていきましょう！



協賛パートナー賞



●あいおいニッセイ同和損保 あいおいニッセイ同和損害保険

「リサイクルセンターにごみを出そう」

このの ゆめ
高野 優芽さん

【メッセージ】

ごみはリサイクルセンターに出すことでちがうものに生まれかわります。なのでごみはちかくのリサイクルセンターに出したら少しでもSDGsにこうげんできるとおもいます。



●株式会社シンテックホズミ SHINTEC HOZUMI

「この手で未来をつなごう。この気持ち。」

三吉小学校 6年1組 1班

【メッセージ】

私たちは車いす体験をしました。乗る時も押すときも、とても不安でした。車いすを利用する人の大変さや私たちが気を付けなければいけないことがよくわかりました。皆さんも明るい未来のために協力してみませんか？



●Forest&Island賞 Forest&Island

「牛乳いっぱい飲んでリメイク！」

おくむら はるや
奥村 温埜さん



【メッセージ】

家族で毎日のように飲む牛乳。普段はリサイクルステーションへ持って行くところ、おばあちゃんが約20本分の牛乳パックで椅子を作ってくれました。リサイクルも大事ですがリメイクも大事ですね！

●ひまわりネットワーク賞

「ともに ジャンプ!!」

三吉小学校 6年2組



【メッセージ】

パラスポーツ選手に来ていただいて義足体験をしました。「障がい＝ネガティブではない」という選手の言葉が印象に残りました。私たちはすべての人と「ともに歩く」を合言葉にこれからも学習を進めていきます。



学生と連携したSDGs

SDGsの効果的な推進を図るため、東海学園大学の学生と市職員で構成され、シティプロモーション事業についても検討しているMIYOSHIみらい創造プロジェクトチーム。これまでさまざまな取り組みを連携して実施してきました。本年度は、令和7(2025)年度に本市で実施する事業を提案するため、チームに



分かれて事業案を作成。そして昨年10月、政策提案発表会での審査の結果、高齢者や障がい者が抱える不自由さを体験し、気持ちを理解することを目的とした「Dialogue in Miyoshi」が選ばれました。今後は事業内容の質を向上させ、市内のイベントなどで高齢者・障がい者体験を実施する予定です。